

那珂市議会 議会運営委員会会議録

開催日時 令和2年8月4日(火) 午前10時

開催場所 那珂市議会全員協議会室

出席議員 委員長 萩谷 俊行 副委員長 富山 豪
委員 大和田和男 委員 寺門 厚
委員 勝村 晃夫

欠席議員 委員 小池 正夫

職務のため出席した者の職氏名

議長 福田耕四郎 副議長 木野 広宣
事務局長 渡邊 荘一 次長 横山 明子
次長補佐 大内 秀幸

会議に付した事件

(1) 議員と語ろう会について

…3密を避けるため時間を60分に短縮して行う

…開催の判断は8月25日の議会運営委員会で決定する

(2) 議員勉強会について

…傍聴者を入れずに行うことで決定

議事の経過(出席者の発言は以下のとおり)

開会(午前9時57分)

委員長 皆さんおはようございます。

議会運営委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

今日は議員と語ろう会、そしてまた議員勉強会についての2点を皆さんにご審議いただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

ただいまの出席委員は5名であります。

欠席委員は小池委員の1名であります。

定足数に達しておりますので、これより議会運営委員会を開会いたします。

職務のため、議長、副議長及び議会事務局職員が出席しております。

ここで議長よりご挨拶をお願いいたします。

議長 おはようございます。

8月に入って大変ご多用中、議会運営委員会、ご出席を賜りました。

今、委員長からお話があったように、議員と語ろう会、あるいは議員勉強会ということでテーマが出ております。

一つ、皆さんのご意見を賜りながら慎重審議をしていただきたく、こういうふう

に思います。

また新型コロナウイルスが大分、県内でも多くなっております。

那珂市で発生しないよう、ちょっと何か、心配、今日の発表が気になるところがあるようですので、感染者が出なければ幸いかなと、こういうふうに思っておるところでございます。

どうぞよろしく願いをいたします。

ご苦労さまです。

委員長 ありがとうございます。

これより議事に入ります。

議員と語ろう会についてを議題といたします。

初めに、先日、事務局から衆議院議員選挙が秋に入る可能性があるとのことで、10月25日、日曜日のふれあいセンターよこぼりを10月31日、土曜日に変更し、議員の皆さんにファクスにてお知らせしたところであります。

本日はこれ以外の中身の部分について検討してまいります。

まず、事務局から資料の説明をお願いいたします。

次長補佐 それでは、会議次第を1枚めくっていただきまして、議員と語ろう会までのスケジュールについてということでご説明したいと思います。

まず1番目の開催日時、場所でございます。

今、委員長のほうからお話がありましたとおり、10月24日土曜日がふれあいセンターよしの、こちらは変わらずでございます。

10月31日の9時半からの、ふれあいセンターよこぼり、こちらが変更ということでございます。

2の周知方法についてですがこちら事務局案でございます。

この後協議いただきたいと思っております。

まず1の広報なかおしらせ版につきましては、先日の全員協議会で説明しましたとおり、9月11日号の掲載を予定しておりますので、別添の原稿案を作成しました。

ちょっと横長のものなんですけども、内容につきましては、去年と変わらないんですが、1番最後に、新型コロナウイルスの感染状況により中止する場合がありますというのを付け加えた中身でございます。

また先ほどの資料に戻りまして、②になります。

まちづくり委員会への通知でございます。

こちらは9月中旬を予定しております。

③の自治会の回覧ですがこちらにつきましては、広報なかおしらせ版の配布とほぼ同じタイミングで回覧することになるかと思っております。

④の市の公共施設内へのポスターの掲示につきましては、9月上旬頃を予定しております。

⑤の市のホームページ等につきましては9月中旬頃を予定しております。

⑥の店舗等へのポスター掲示依頼ですが、こちらは例年と同じように議員の皆様

掲示依頼をお願いする形をとりまして、9月中旬から10月上旬頃を予定しております。

次に⑦、報道への公表につきましては9月下旬の頃を予定しております。

⑧番の市議会だよりにつきましては、7月20日号で開催日時については既にお知らせしております。

⑨のイベント等へのチラシの直接配布ですが、こちらにつきましては、市内のイベント等が中止となっておりますので、今回ちょっと配布は難しいというふうを考えております。

次に3番、前回のアンケートからの主な意見でございますが、状況説明ではなく、課題を取り上げて意見交換したほうが効率的だと思う。

テーマから外れてしまうことが多かった。

せっかくのテーマについて十分に語るができなかった。

時間が短いので長くすればいいのではないか。

討論の内容をホワイトボードにまとめる人がいるとよいなどの意見がございました。

最後に別途ホチキスでとじてあるものですが、当日配布する議員と語ろう会の資料、こちらも作成してみました。こちらも案でございます。

会議次第の後に、議会の概要をつけまして、その後各グループのメモ用紙で、その後那珂市議会の議会構成表、最後にアンケートをつけるような形で用意しようと思っております。説明は以上でございます。

委員長 説明が終わりました。

続きまして資料2枚目の4番目の検討事項について協議してまいりたいと思います。皆様のご意見のほう、よろしく願いいたします。

今のスケジュールについての2枚目の4番検討事項、それについてです。

まず、意見交換の方法。

中身は今までどおりなのか、それとも、皆様のご意見をいただきたいと思います。寺門委員 今日最終決定をするというお話でしたので、県のほうではステージ3に上がってますよね。

その会議については、自粛を要請するものではありませんけれども、会議開催については、できるだけ私は、当初、時間は長めで皆さんの意見を十分に取ったほうがいいですよという話をしましたけれども、ここまで新型コロナウイルスが大変な状況になってくると、やはり今までの時間でもいいのかなというのと、医師会等と会議の仕方について事務局のほうで確認していることってありますかね。

どうもその会場で3グループでやると、非常に密の状態になってしまって、極端な話、マスクの着用は当然ですけども、収容人員ね。開催するに当たって例えば50人収容だと半分以下にしないとか、その辺の会議開催に当たって、注意する事項って、医師会等々、県のほうから、那珂市としてもね、どういう判断基準を持ってい

るのか。

それによって今日決定ということになると思うんでね。

その辺の前提となるところをクリアにさせていただきたいなというところなんです。

委員長 今寺門委員から意見出ました。

今開催についてもちょっといろいろありますけども、それについては、最後に、皆さんのそれぞれのご意見を聞きたいなと思います。

まず進める方向のあれで決めておいてということで、ご意見を聞きたいと思いますので、その他何かご意見等あれば。

寺門委員 来ていただいた方々を今までのやり方ですと、3つのグループに分けてということになるんですが、今回新型コロナウイルス対策とすれば、それぞれ興味がある委員会のほうに行って、そこでじっくり話し合っていたくというような進め方のほうがいいのかなというふうに思ってます。

委員長 資料の後ろのほうに会場の設営図がありますので、それについてもご意見いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

ほかにご意見等ございませんか。

今寺門委員から時間はやっぱり40分くらい、前回と同じくらいでいいと。

それともう一つは、前は3つのグループに順番に回ってったわけですけども、やっぱり自分はこれだってところに徹底してもらっても構わないじゃないかというような今意見が出ました。

その辺皆さんのご意見聞きたいと思いますが。

大和田委員 私もやはり時間を短縮して開催しなければならないというところで、やはりぐるぐるしちゃうとどうしても話題もそれちゃうと思うんですね。

その人によって、教育だって行ったのに、いきなり下水道と言われて下水道のことは、興味ない人もいると思うので、やはりそのテーマに沿ったところに行ってもらって、テーマについて、こちらのアンケートにもあるように、テーマについて十分語るができなかったということなので、テーマを絞って、人を絞っての開催のほうがよいのではないかなと思います。

委員長 今大和田委員から出ました。

例えば偏っちゃう場合もあると思うんですね。

バランス良くという訳にはいかないですから。

でもそれはそれでしょうがないということですね。

その他。なければ、そういう方向で、今回は3つの常任委員会に皆さんが、この3つのテーマについて興味あるところにずっといてもいいと。

例えば3回に分けますよね。時間的には。

移動してもいいということですよ。当然。

寺門委員 それは移動しないで、要するに時間40分なら40分。

もう少し見て1時間なら1時間で終了するみたいな。

やはり時間短縮したほうが良いと思うんですね。

要するに、3グループに分けて、3つ全部回るとなると、やっぱり2時間近くかかるんですね。

ですからそこは今まで2年間やってきましたけれども、新型コロナウイルス対策も考えてということで、時間を1時間にして、希望のところだけでじっくり話し合ってもらいたくのが良いと思うんですね。

その移動の際も密になっちゃうんで。

委員長 今寺門委員から出ましたけど40分を3回に分ける、最初の予定だったんですが、60分にしてその人が自分がどうしても行きたい、話がしたいところに行ってもらって1時間で全体的に終わるという意見なんですが、それについてはどうでしょうか。

(複数の発言あり)

委員長 はい、わかりました。

議長 これ出席する方というのは、事前に3つのテーマがあるでしょう、例えば来る方によって、よし今回は防災と頭に入れて来るのと違うかな。

そうですね。

だから3回に分けてとか、そういうあれじゃなくても、本人が今日はこれをちょっと聞いてみたい部分、そういう意味では、事前にこういうチラシが配布されてるんだから、3つに分けて云々ということじゃなくてもいいと思いますけどね。

委員長 分かりました。

議長からもそういう意見が出ましたので、1つに皆さん絞ってくるだろうということで60分間で打ち切りということで決定させていただきます。

副委員長 実施に当たってなんですけど、この間私もちょっと大きな会議に行ってきたんですけど、今茨城県でやってる「アマビエちゃん」のやつありますよね。

あれ登録したり、あと事前にちゃんと住所と氏名としっかり取って、体温を図れるような準備があればいいのかなっていう、もし何かあった場合にちゃんと追跡できるような対策までしておけばいいかなっていうのは思いますが。

(複数の発言あり)

委員長 じゃ、そういう方向で進めて。

あと時間なんですけども、当初9時半開始ということだったんですが時間はどうしましょうか。

そのままにするのか、少し時間を遅らせるのか、10時開始とか。

(複数の発言あり)

委員長 どうでしょう。

10時ということで、あと挨拶等もありますけども、挨拶なんかも、今回はあまり長

めにしないということで、やっていただければ、こっちの議員のほうもそうですけど、来た方にも、少し短めにやっていただいて、それで短めにできるだけするという方向で進めていけばと思いますが、それでよろしいでしょうか。

次長 終わりの時間もおしらせ版に入ってるんですけど、11時半にしますか。

委員長 10時からで11時半に遅くとも終了するという方向でできればもう少し短縮できれば、挨拶のほうもよろしいのかなと思いますけども。

議長 意見交換の40分というのは……

委員長 1時間でその1か所だけで、集中してやっていただくということで決定いたします。

次に周知の手段については、これ先ほど事務局より説明ありましたがその方法で今までどおりというか、ちょっとイベント会場に行けないということがありますが、その他は、事務局の説明どおりでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 はい、そうさせていただきます。

団体の案内送付についても同じことだと思うんですけども、先ほど説明のとおりでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 ポスター、チラシについて、アンケート、リハーサルとありますけども、ポスター、チラシについては、議員が5枚くらい持って行って店舗にお願いすると。

アンケートについては一番下についているということでいいと思うんですが、(4)のリハーサルについてなんですけども、やっぱりリハーサルは実施したほうがよろしいでしょうか。

議長 もう2回やってるわけだね。いいんじゃないかな。

委員長 わかってると思うんですけどね。

いかがしましょう。

今議長より、経験もしてるし、リハーサルはいいだろうとご意見が出ましたけども、それについて皆さんのご意見は。

(なし)

委員長 じゃリハーサルはなしということで、決定させてもらってよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 分かりました。

リハーサルはなしと。

次長 9月の常任委員会の際に、役割分担とか、それぞれ委員会で決めていただきますので、それと併せて、集合時間等をこちらからファクスで皆さんにお知らせするような形でよろしいですか。

委員長 それでよろしいでしょうかね。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 あとポスターが3つ出てますけど、写真が違うだけなんですけど、どれが良いの
かなっていう、3つの中で。

(複数の発言あり)

委員長 どうしましょう。

議長 正副委員長で決めなよ。これにこだわらないで。

委員長 真ん中のポスター、それでいいですか。

そうすると語ろう会についての流れとしては、一応これで終了したと思うんですが、
先ほどお話ししたように、8月25日、最終的には、これまでに語ろう会を実施する
か中止するかを決定をしなければならない、9月11日発行されるそうなんですけども、
原稿締切りが8月25日だそうなんです。

だから、あと20日くらいですけど、これで今の意見、現状の考えというか、実施
か中止か難しいと思うんですが、なかなか現状では難しいですけどね。

どうしましょう。

これは8月の締切りぎりぎりまで待つて判断しますか。

大和田委員 次の全員協議会はいつですか。

事務局長 8月25日に議会運営委員会と全員協議会をやるので、そのときに判断していた
だければ間に合います。

大和田委員 この状況では、やるとは言えない状況であるのは、重々承知しているのです
が。

委員長 いや、確かに難しい状況ではありますけども、いずれにしても8月25日、議会
運営委員会の時に皆さんと話し合っって方向性を決めていきたいなと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

寺門委員 25日最終決断となりますけれどもその際にですね、中止の場合は、やはりやり
ますよって案内が流れないわけですよ。

次長補佐 はい。広報の議会だよりのほうで開催通知のほう出しておりますので、8月2
5日に中止ということになれば、それを今度広報なかのほうで中止なりますというお
知らせはしようかと思っております。以上でございます。

寺門委員 テーマはまだ言ってませんでしたよね。

わかりました。

もしテーマが流れていけば、それについてまたご意見お寄せくださいねぐらい言っ
ておいたほうがいいのかっていう、提案なんですけどね。

わかりました。結構です。

委員長 それでは議員と語ろう会については、以上でよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 次は、議員勉強会です。

原子力安全対策常任委員会の勉強会についての傍聴者を入れるか、入れないかという点について皆さんのご意見を伺いたと思います。事務局から説明願います。

次長 8月20日に議員勉強会としまして原子力問題に関する意見交換を予定しているんですけども、先日、原子力安全対策常任委員会の正副委員長と担当のほうで打ち合わせをしまして、そのときに、一応今日1枚お配りしている議員勉強会の用紙にありますように、こちらのテーマに沿って、自由な意見交換をしていこうということをございまして、ちょっとテーマが14項目あるんですが、その中で、1番から6番ぐらいまでの内容について、皆さんで話していこうということなんですが、司会進行のほうは原子力安全対策常任委員会の正副委員長のほうで務める形で、皆さんからの意見、それから、これからこういうことをもうちょっと調べたいとか、こういうことについて専門家の話を聞きたいとか、そういうことがあれば、意見を出していただいて、あとは皆さんの考えとか、自由に討論していただく会ということで、考えているということなんですが、その中で、正副委員長のほうでちょっと傍聴者を入れられないかという提案がありまして、一応議員勉強会として開催するものですので、議会運営委員会のほうで諮っていただきたいということをございしましたので、今日議題にしてるんですが、傍聴を入れてやることについてちょっと皆さんのご意見をいただきたいということをございます。

現時点では、こちらのお知らせというのは市民の方にはしていませんので、内部での議員勉強会という形になっております。以上です。

委員長 説明が終わりました。

先ほど説明した勉強会に傍聴者を入れてよいか、皆さんのご意見をお伺いしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

大和田委員 はい、これは議員勉強会なんですよ。内部での。

先ほど事務局から話もあったとおり、自由に意見を交換するっていうところですよ。ね。

何というんでしょう。反対、賛成というそういう話ではなく中立的に勉強会をするということだと思うので、我々の勉強会ということで、傍聴者というのは必要ないのではないのかなと。

そうすることによって自由な討論ができるのではないのかなと思います。

以上です。

委員長 今大和田委員より、傍聴者は入れなくてもよいのではないかと。

よろしいんじゃないかっていう、ご意見が出ました。

それについて何かご意見は。

寺門委員 私も結論は今回の勉強会については、傍聴者は入れなくてもいいのではないかというふうに思います。

というのは原子力安全対策常任委員会のほうで設定をして、市民との自由討議の場

と議論の場ということでも設けるのであれば、しっかりと市民の方も参加いただいて、実施していただいたほうが良いというふうに考えてます。

今回は議員全体の話で、テーマを東海第二原子力発電所再稼働に関するテーマになりますけれども、その議員間の自由討議が第一義だと思うんですね。

ですから、この件については、オープンじゃなくても今回だけは傍聴者なしというほうが良いというふうに判断をしたいと思います。以上です。

委員長 ただいま寺門委員からも出ましたけれども、大和田委員のとおり、やっぱり傍聴者は入れないのが良いんじゃないかというご意見が出ました。

それについて、皆さんどうでしょうか。入れなくてもよろしいでしょうか。

勝村委員 大和田委員も寺門委員も言ってるように、これは議員勉強会なんで、議員間だけでいいと思う。一般傍聴者が入るといろんな自由な討論ができないと思うんで、今回は、議員だけというほうが良いと思う。

委員長 3名の方から入れなくてもいいだろうというご意見出ました。

これで皆さん決定でよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 では傍聴者を入れないということで決定させていただきます。

寺門委員 原子力安全対策常任委員会委員のほうには、ぜひともその市民との討議の場っていうか議論の場を設けていただきたいなと、自由にどんどん出ていっていただいて結構だと思いますんで、地区ごとでやるとか、今後そういうことも、どしどしやっていただきたいという要望を。

委員長 寺門委員から、飛び出して行って、市民の皆さんと原子力安全対策常任委員会としてやっていただきたいなというご意見が出ましたけれども、皆さんそれについてやっぱりこちらから議会運営委員会として、委員会のほうに要望みたいな形でちょっとお話ししてもよろしいですか。

どうしましょう。

そういう形で意見が出ましたよということで、そういう話を委員会のほうにさせていただきます。

ありがとうございました。

すべて決定いたしました。

寺門委員 議員勉強会ということだったので、トータルの話で今原子力に特化してやりますけれども、他はどうなんだろうね。委員長のほうで何か考えていただければなという気がするんですね、委員長、副委員長で。

要するに、原子力に関することだけじゃなくて、今後の議会のあり方みたいな話も含めて、その辺はどういうふうに、委員長、副委員長考えておられるのかお考えを聞きたいです。

委員長 これは議会全体というところやっぱりこの議会運営委員会の中で、委員の皆さんと話

し合いながら、やはり議会の運営していきたいと私自身は考えてますけども、ただ特別特化してね、やってこうということで、たださっきICT化とか出てきましたけども、こういうのに対しては、私自体ができないわけですけども、協力していきたいと思ってます。実際それが実現すれば、私も一生懸命勉強したいなとこういうふうに考えているわけですけども、いずれにしても執行部と議会がうまくいくように、また議員間がうまく連携として議会として、機能していくように、副委員長と力合わせてやっていきたいなと思っております。

ちょっと質問に答えてないかもしれませんが以上です。

寺門委員 どんどんこういうのをやってくださいねっていう話をしたほうがいいということですね。我々の間でね。わかりました。

委員長 今までもやりましたように、私個人じゃなく、議会運営委員会のほうの中の考えとして、皆さんに伝えていくとか話をしていくという、今みたいなね、原子力もそうですけど、そういうことは私一人の判断でなく、皆さんとともに決定して運営していきたいなと思ってます。以上です。

よろしいですかね。

寺門委員 はい。

委員長 以上で本件は全て終了いたしました。

以上で議会運営委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会（午前10時30分）

令和2年9月1日

議会運営委員会委員長 萩谷 俊行